

企業価値向上・創造へ、あらゆる可能性を考慮



JFE商事直系の熱延系コイルセンター(CCC)であるJFE商事甲南スチールセンター(本社)

新社長

・神戸市東灘区)の社長に4月1日付で就任。「安全は一丁目一番地。安全第一のもと、神戸に立地している強みを生かしながら新たな『売り』を考え、多方面にPRしていきたい」と抱負を語る。

を考えたが、当社の価値を向上・創造していくかを考えると、業界全体を盛り上げ、関西のCCC各社の活性化につなげたい」と語る。川鉄商事(現JFE商事)入社後はパイプ畑を長く歩んだが、大阪薄板部長時代にはJ商甲南も管轄。「業態

JFE商事甲南スチールセンター 北島真治氏

3基のスリットで加工に磨き

でレベラー1基とスリッター3基を有する。関西圏でJ商が出資する熱延系CCCはJ商甲南のほか、近江産業、大阪鋼庄、三協則武鋼り、今後もスリット加工業。大阪支社長時代に工に磨きをかけていき4社連携を開始した。「従業員と「従来からの考え方を踏襲しつつ、次のステップの近江産業を阪和興や社員のことはある程度知っているが、社長掛け持ち、水泳・スキとなつて中に入りイメー軽音楽部に所属している」と話す。印象に残る業務は大阪薄板部長時代にオーナー系Cの近江産業を阪和興

業と共同で持ち分法適用会社化したこと。ほ笑む。(綾部 翔悟)

略歴

北島 真治氏(きたじま・しんじ)
1988年(昭63) 甲南大経営卒、川鉄商事(現JFE商事)入社。2011年JFE商事大阪ブリキセンター(現JFE商事ブリキセンター)社長、14年J商西部鉄鋼本部大阪薄板部長、17年理事、18年執行役員、19年常務執行役員、25年4月現職。1965年(昭40)11月生まれ、59歳。兵庫県尼崎市出身。

2025年(令和7年) 5月21日 水曜日

新社長登場

New President



JFE商事甲南スチールセンター

北島 真治氏

4月1日付で就任。「甲南中高・大学出身なので、

親の瑛治さんから「鉄の仕事をやりたい」と言

に西部鉄鋼本部大阪薄板部長、18年に大阪支社長

に就任した。

「近江産業への阪和興業との合同出資が特に印象に残っている。社内的那些の専門部署に支えられ推進。極めて貴

熟延系の中核コイルセンター。レベラー1基、スリッター3基を保有しており、建材向け、自動車向けが主力。受託・賃加工の比率が高位にある。「過去にとられず、いろんな可能性を考えていける会社にした。可能性に肉付けや補強をして、域内コイルセンター事業の活性化にも貢献し

ていきたい」と意気込んでいる。(声田 彩)
▽北島真治(きたじま・しんじ)氏 1988年3月甲南大経営卒、川鉄商事(現JFE商事)入社。08年JFE商事鋼管管材料センターはJFEグループの関西地区における

甲南と名がつく会社で働くことに縁を感じている。思い出も多い懐かしい地で、会社としての可能性を広げていきたい」と抱負を語る。

実家が北島商店(本社 大阪府西区、北島茂治社長)を営んでおり、父

われ育った。川鉄商事(現JFE商事)に入社後は大阪で19年、名古屋で3年、鋼管畑を歩んだ。2004年のJFE商事発足に伴い、JFE商事鋼管管材料に出向。その後薄板・ブリキ分野へ進んだ。14年

JFE商事甲南スチールセンターはJFEグループの関西地区における

重な経験となった。大阪支社長時代には、熟延系コイルセンター4社連携が始動。現在は次のフェーズに進む段階にきている。